



装置型式	TDR-245シリーズ (TDR-36シリーズ後継機) 「TECH DEL製」
測定方法	国内最大面積4900cm ² 、厚さ5cm、体積24500cm ³ のプラスチックシンチレータと2インチ光電子増倍管の組み合わせによる高感度ガンマ線検知方式
検知能力	370KBq(10μCi)のCs137が検知部までの距離2.5mを10km/hで通過した場合、検知器表面で0.0055μSv/hを100%検知可能(微量検知使用時) (旧36シリーズと比較しておよそ160%の性能向上が図られております。)
概略寸法	(1) 筐体外形寸法：高さ1940mm×幅1160mm×奥行250mm(取付金具除く) ※標準タイプ使用筐体数2台(SUS製) (2) シンチレータサイズ：縦700mm×横700mm×厚み50mm ※筐体1台あたりシンチレータ2面使用(標準タイプ合計4面使用) (3) 重量200kg ※筐体1台当たり
使用電源	AC100V±10% 50/60Hz Max250W
車両速度	1～10km/hの間で設定が可能(設定値を超えると速度警報が表示されます)
タイプ	対面型・L型・門型
制御装置外部入出力 (オプション)	(1) 外部入力「警報リセット」 (2) 外部出力「速度警報」「放射線検知」「測定中」「測定完了」「運転可」 その他
その他の機能	(1) バックグラウンド値の自動演算機能 (2) 放射線検知部故障時の個別切り離し機能 (3) 放射線量のグラフ、位置表示モード (4) ノイズ除去機能により検知器と制御器の長距離設置が可能 (5) データ保持機能(1年分) (6) 放射線検知時のみの自動プリントアウトも設定可能

※仕様及び寸法、構成は改良のため予告なく変更する場合があります

